



越前市内でも 市民デモ行進

越前市の市民団体などでつくる「戦争法案反対丹南市民の会」は16日、同市内で安全保障関連法案に反対する集会を開いた。約100人が参加し、デモ行進を行った。写真。午後6時から同市蓬萊町の蔵の辻で始まった集会では、丹南市民の会の事務局を務める武生九条の会の金森洋司事務局長が、法案採決は目の前に迫っていると「非常に大

事な時なので、皆さんの協力で声を上げたい」と呼び掛けた。

参加者はJR武生駅までデモ行進。「ストップ戦争法案」などと書かれたのぼりを持ち、「強行採決は許さないぞ」「憲法を守れ」などデモンストレーションを行った。

(大谷純平)

反対署名146人分
首相官邸へ郵送

福井大教員ら

政府の安全保障関連法案に

反対する福井大教員らの「有志の会」は16日、現職教員やOB、県民から集めた146人分の「ネット署名」を、首相官邸と本県選出の国会議員宛てに郵送した。

有志の会は教員ら56人でつくり、2日からホームページで署名を呼び掛けた。

同大教育地域科学部教員の4割に当たる41人が署名を寄せ、他学部教員、県外在住の市民からも出された。ホームページでは、署名に添えられたコメントを公開してい

福井駅東口

県民の思い交錯

「憲法を守る」「選んだのは国民」

強行採決を許すな。安全保障関連法案の廃案を求め、福井市のJR福井駅東口広場で座り込み行動を続ける団体は、16日も戦争法案だ「憲法を守る」と声を振り絞った。周囲には賛同し立ち止まる市民がいた一方、関心を示さない人たちも。県民の思いが交錯した。

14日から座り込みを続けるのは、県平和センターや9条の会、ストップ戦争法案実行委員会。16日は、初日に次々多岐という約60人が、次々にマイクを握った。

1945年の福井空襲の際に避難した経験を持つ高島文

話した。
この日の座り込みは予定の

午後6時までで終了。実行委事務局の宮下正一さん(66)は「審議はヤマ場を迎えた。決してあきらめない」と力を込めた。

(宮崎翔央)



安全保障関連法案の廃案を求め、座り込み行動を続けるメンバーら=16日、福井市のJR福井駅東口広場

県庁で15日に会見した呼び掛け人代表の森透・同大大学院教授(66)は「戦争法案」は許されぬ。法案は平和と安全を守るものではない」と述べ、山根清志特命教授(67)は「数の力で押し通そうとする政府の論理は法治主義に反する」と訴えた。

(宮崎翔央)

9/17
福